

予算要求課	水道環境部 上水道課	内線	2254
-------	------------	----	------

金額の単位は、千円

款	1	水道事業費用	項	1	営業費用	目	
事業名	11100	営業費用(原水浄水費、配水及び給水費、総係費、減価償却費他)					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		839,891	989,391	149,500	955,364	丹生川簡易水道及び岩滝簡易水道の統合による増 ・減価償却費 ・指定管理料 等	955,364	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	839,891	989,391	149,500	955,364		955,364	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
健全な企業経営と清浄で安全で安心な水道水の安定供給			
事業実施の課題			
老朽化した施設機器等の延命化。 水道料金の未払いをなくすことにより歳入を確保する。			
事業概要			
水道施設の適正な維持管理 水道料金徴収			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
水道施設の適正管理及び老朽化した施設の延命化 安全安心な上水道の提供			
要求額増減理由			
丹生川簡水及び岩滝簡水が高山上水へ統合したことによる指定管理委託料の増 指定管理施設資本的修繕及び消火栓修繕の増 丹生川・岩滝簡水統合に伴う修繕の増 丹生川簡水及び岩滝簡水の事業統合による資産の増に伴う減価償却費の増			

①総合計画		
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして		
上・下水道		
(1)安全で安心な水を安定して供給する		
②給水施設の整備 ③経営の安定		
②実施計画・中期財政計画		
3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5) 上・下水道		
ハード ソフト		
水道施設維持修繕・改修事業、水道施設等管理事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
6 市民の生活と生命いのち・財産を守ります		
安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。 解消に努めます。		

予算要求課	水道環境部 上水道課	内線	2254
-------	------------	----	------

金額の単位は、千円

款	1	水道事業費用	項	2	営業外費用・予備費	目	
事業名	12100	営業外費用(支払利息及び企業債取扱諸費、繰延勘定償却、消費税、雑支出)・予備費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	158,820	156,133	△ 2,687	162,324	丹生川簡易水道及び岩滝簡易水道の統合による地方債利子支払額の増	162,324	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他	158,820	156,133	△ 2,687	162,324		162,324	
一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
健全な企業経営と清浄で安全で安心な水道水の安定供給			
事業実施の課題			
事業概要			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
年度末地方債残高(千円)	4,284,410	4,074,123	4,494,663
成果			
利子償還額の削減			
要求額増減理由			
丹生川簡易水道及び岩滝簡易水道統合に伴う増			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	水道環境部 上水道課	内線	2254
-------	------------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	資本的支出	項	1	建設改良費	目	1	原水及び浄水施設費
事業名	21100		原水及び浄水施設費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		15,813	71,040	55,227	31,293	丹生川簡易水道統合により、ダム負担金分の増	31,293	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	15,813	71,040	55,227	31,293		31,293	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
安心安全で安定した水道を供給するため、水道施設の整備			
事業実施の課題			
施設の機器類は高額なため、日々の点検補修により延命化を図る必要がある。 丹生川ダム負担金は、丹生川簡水が上水道に統合されたことにより、水道事業会計で支出することとなる。ダム完成後も維持管理に対する負担が必要となる。			
事業概要			
水道施設整備			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
機器更新工事(件)	7	4	10
成果			
安全で安心な水を安定供給			
要求額増減理由			
耐用年数を迎え、更新時期が到来した機器の増加に伴う工事請負費の増 丹生川簡水統合に伴う、丹生川ダム負担金の増			

①総合計画	
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして	
上・下水道	
(1) 安全で安心な水を安定して供給する	
②給水施設の整備	
②実施計画・中期財政計画	
3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
(5) 上・下水道	
ハード	
丹生川ダム建設事業、配水池耐震化整備事業	
③事業評価	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
④市長の約束	
6 市民の生活と生命いのち・財産を守ります	
安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。 解消に努めます。	

予算要求課	水道環境部 上水道課	内線	2254
-------	------------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	資本的支出	項	1	建設改良費	目	2	配水施設拡張費
事業名	21200		配水施設拡張費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		216,367	302,692	86,325	305,637	錦山配水区域等再編事業による増	305,637	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	216,367	302,692	86,325	305,637		305,637	
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
安心安全で安定した水道を供給するため、水道施設の整備			
事業実施の課題			
錦山配水池負荷解消事業に伴う新配水池設置については、配水区域及び配水池容量を含めて基本設計を行っている段階であり、予算については概算で計上している。			
事業概要			
錦山配水池負荷解消に伴う配水管の布設 水道施設整備			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
配水施設拡張工事(件)	16	15	15
成果			
安全で安心な水を安定供給			
要求額増減理由			
使用水量増加に伴う錦山配水池負荷解消事業による工事請負費の増 施設拡張に伴う設計委託業務完了による委託料の減			

①総合計画	
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして	
上・下水道	
(1) 安全で安心な水を安定して供給する	
②給水施設の整備	
②実施計画・中期財政計画	
3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
(5) 上・下水道	
ハード	
配水管拡張整備事業、松倉配水池水圧整備事業、水道水管及解消事業、錦山配水池水圧整備事業、上野地区配水施設整備事業、上水道・簡易水道統合整備事業	
③事業評価	
事業名	今後の方向性
評価区分	
コスト・成果ポジション	コスト 成果
実施方針	
④市長の約束	
6 市民の生活と生命いのち・財産を守ります	
安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。	
解消に努めます。	

予算要求課	水道環境部 上水道課	内線	2254
-------	------------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	資本的支出	項	1	建設改良費	目	3	施設改良費
事業名	21300		施設改良費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		278,368	335,692	57,324	287,561	坂口～城山配水池間基幹管路耐震化整備事業実施による工事請負費の増、設計委託料の減	287,561	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債	30,000	0	△ 30,000				
	その他	248,368	335,692	87,324	287,561		287,561	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
安心安全で安定した水道を供給するため、水道施設の整備			
事業実施の課題			
坂口～城山間の基幹管路耐震化については、地下埋設物が支障となるため、工法の選定が必要である。また、仮設管の設置が必要と思われるため、口径等を含め現在検討中。			
事業概要			
坂口～城山配水池間基幹管路耐震化整備事業、松倉配水池水圧増強整備事業 道路改良及び下水道工事に伴う配水管布設替工事			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
施設改良工事(件)	22	9	15
成果			
坂口～城山間基幹管路の耐震化により、安定した飲料水の供給が可能となる			
要求額増減理由			
坂口～城山配水池間基幹管路耐震化整備事業実施による工事請負費の増 坂口～城山配水池間基幹管路耐震化整備事業設計委託業務の完了に伴う委託料の減			

①総合計画		
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして		
上・下水道		
(1) 安全で安心な水を安定して供給する		
②給水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5) 上・下水道		
ハード		
配水管布設替事業、送水管布設替事業、老朽管対策整備事業、		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
6 市民の生活と生命いのち・財産を守ります		
安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。解消に努めます。		

予算要求課	水道環境部 上水道課	内線	2254
-------	------------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	資本的支出	項	1	企業債償還金他	目	
事業名	21400	営業設備費・有形固定資産購入費・開発費・企業債償還金					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	259,287	308,563	49,276	280,309	丹生川簡易水道及び岩滝簡易水道統合により地方債元金償還額の増 水道施設管理システム導入は見送り	280,309	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他	259,287	308,563	49,276	280,309		280,309	
一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
安心安全で安定した水道を供給するため、水道施設の整備			
事業実施の課題			
水道施設管理システム(管網データ化)導入にあたっては、下水道課と同調して事業を進める必要がある			
事業概要			
新配水池整備に伴うポンプ場敷地の購入 水道施設管理システム(管網データ化)の導入、宮水源浄水方法検討業務委託			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
年度末地方債残高(千円)	4,284,410	4,074,123	4,494,663
成果			
水道施設管理システムの導入により、配水管等の突発修繕に迅速に対応。 平成16年度末地方債現在高 6,051,779千円			
要求額増減理由			
水道施設管理システム新規導入及び宮水源浄水方法検討業務委託に伴う開発費の増 丹生川簡易水道及び岩滝簡易水道統合に伴い、丹生川・岩滝簡易水の起債元金を水道事業会計で支出することになるための増			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		